



電子教材クイックガイド

はじめに

この動画は**講習会前～講習会中**に行う電子教材に関する操作を紹介する動画です。

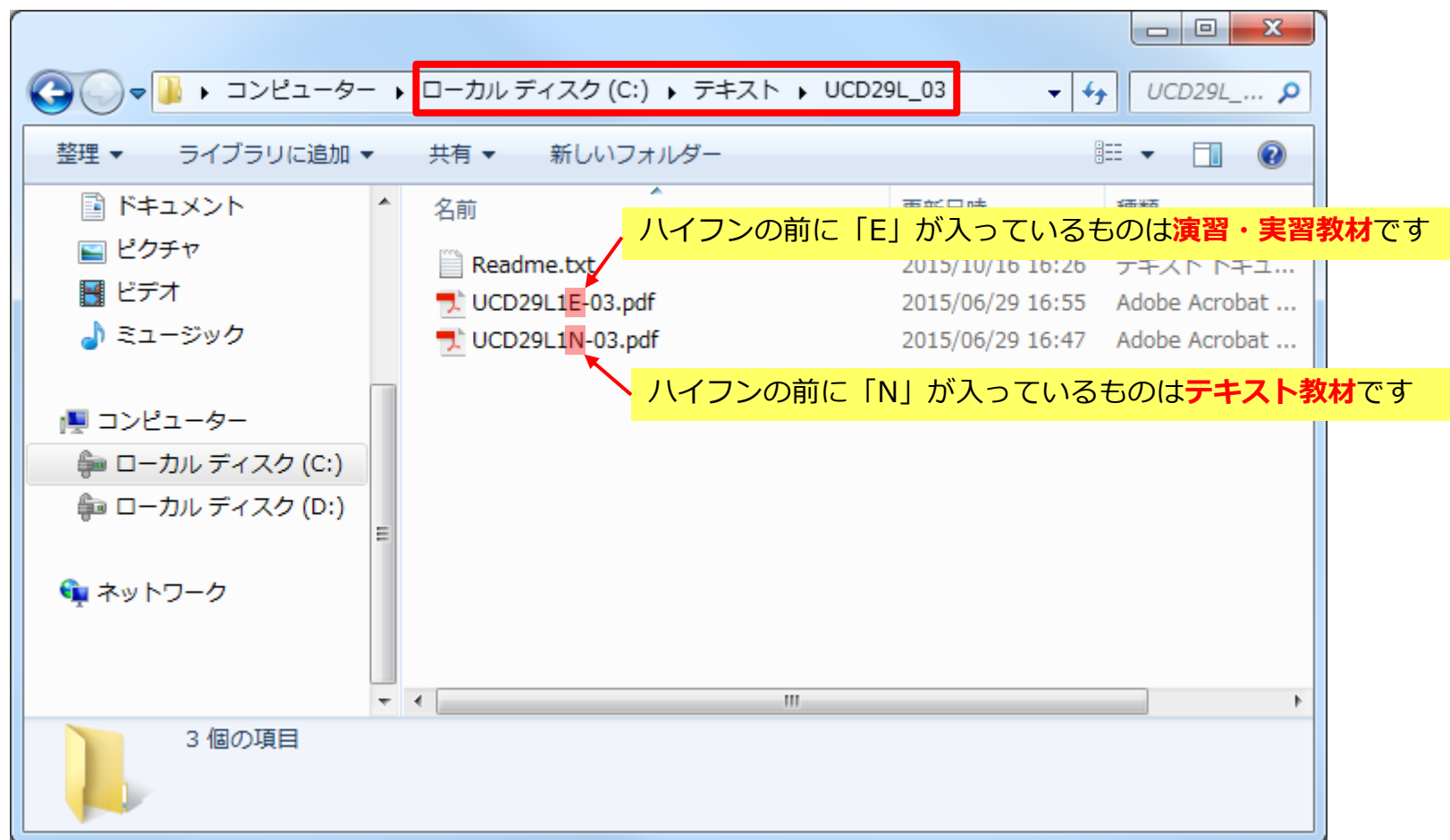
電子教材を**初めてお使いになる方、操作に不安のある方**はこの動画を再生/一時停止して、実際に電子教材の操作をお試してください。

1 . 電子教材の確認

電子教材（PDFデータ）は、デスクトップの「テキスト」フォルダーの中に格納されています。「テキスト」フォルダーをダブルクリックします。

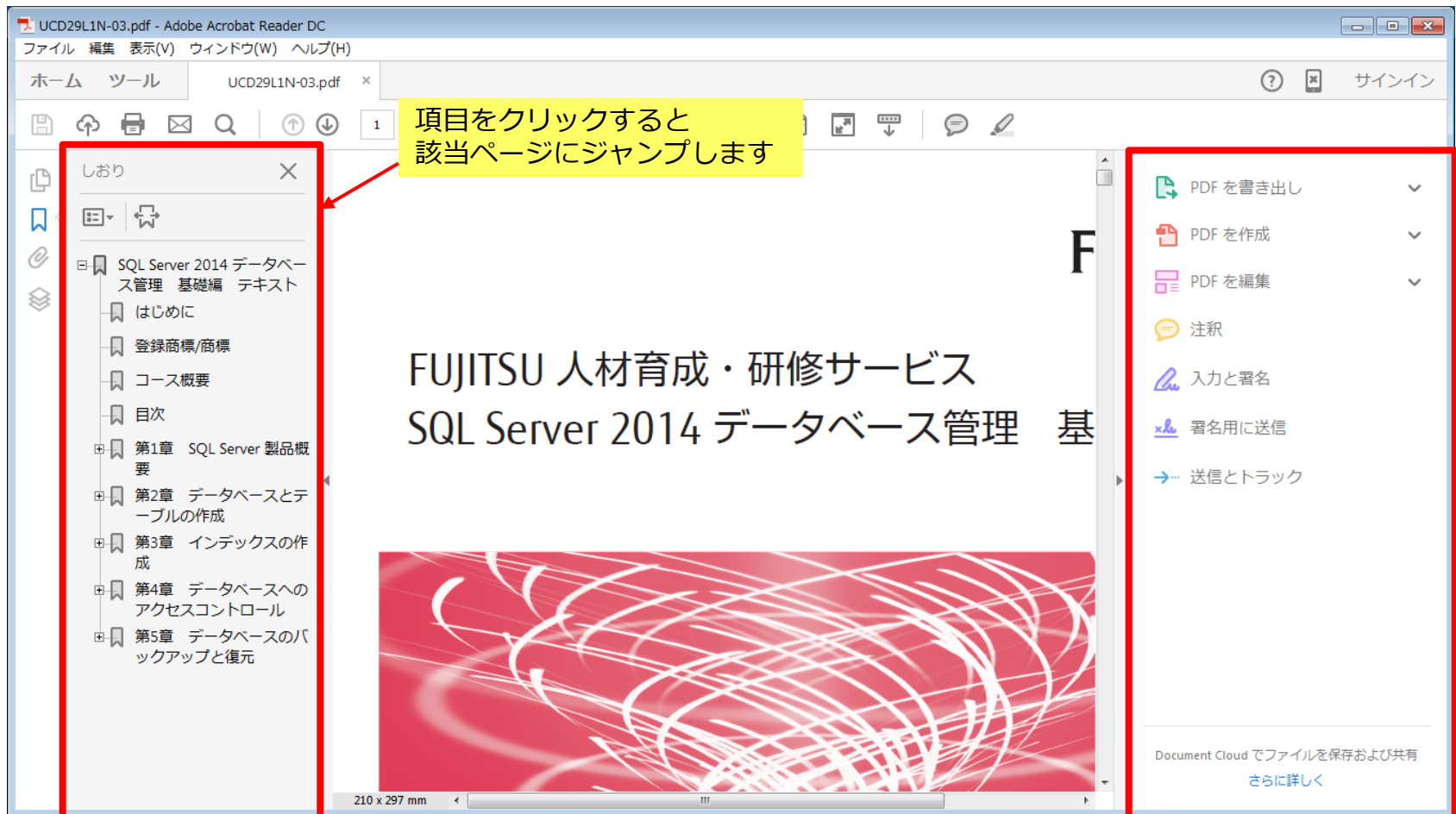


「テキスト」フォルダーの中の「コースコード」フォルダーを開くと、電子教材（PDFデータ）が格納されています。PDFデータをダブルクリックして開きます。



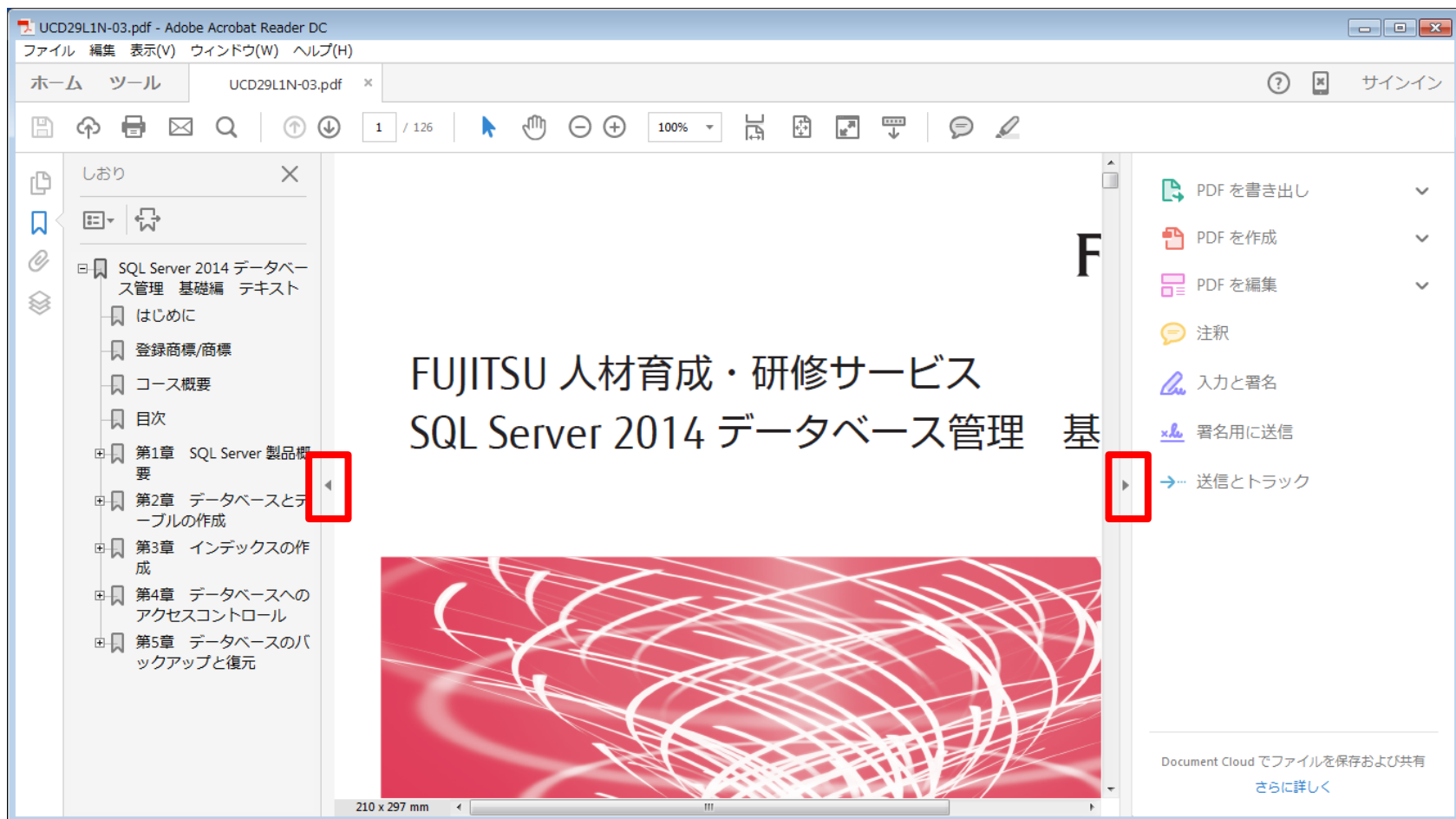
PDFをダブルクリックすると**Adobe Acrobat Reader**でPDFが開かれます。
左にしおり、右にツールのウィンドウが表示されます。

PDF画面イメージ



両脇の「◀」「▶」を押すと、左右のウィンドウを非表示にできます。

PDF画面イメージ



両脇の「◀」「▶」を押すと、左右のウィンドウを非表示にできます。

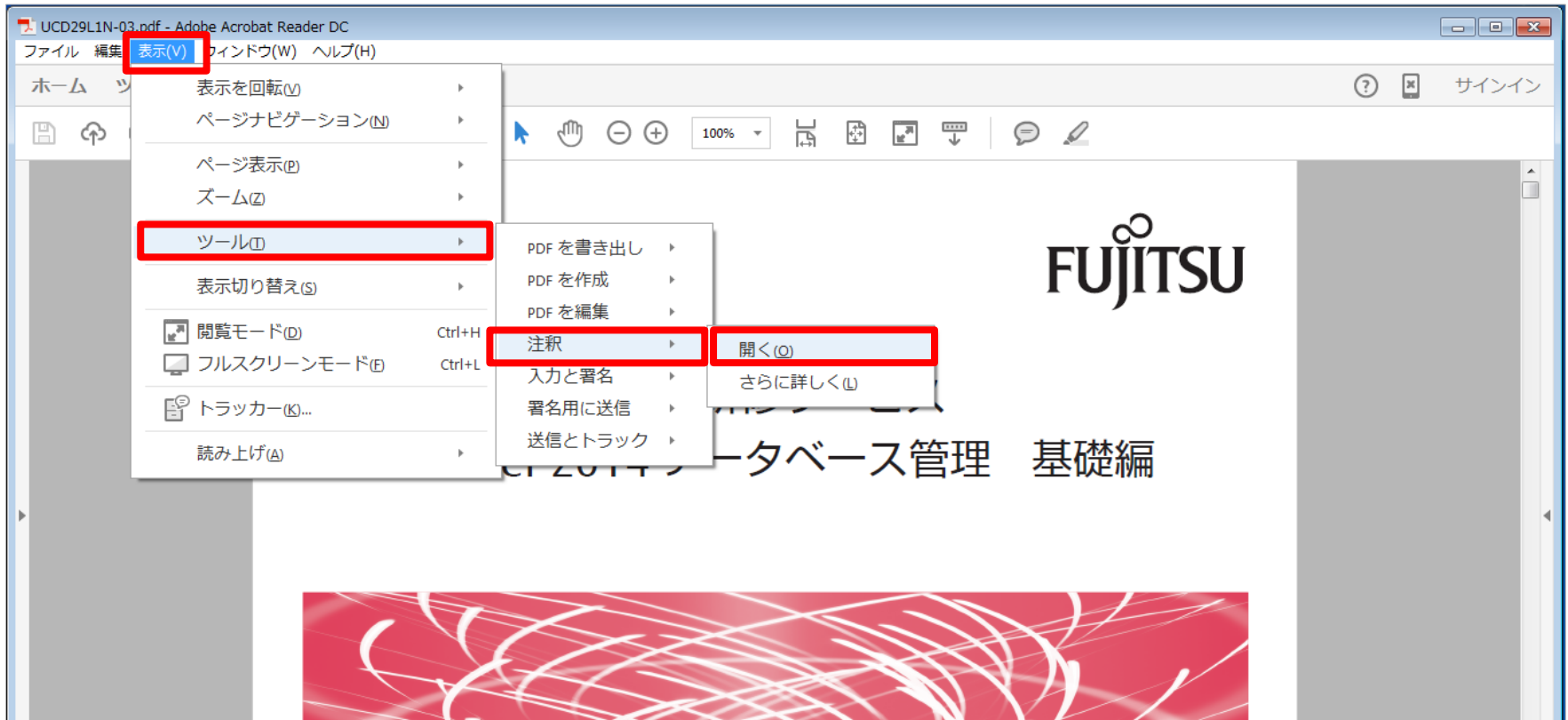
PDF画面イメージ



2. 学習メモ（注釈）の使い方 （PDFに書き込みをする）

[表示]メニュー - [ツール] - [注釈] - [開く]をクリックします。

PDF画面イメージ



PDF画面の上に注釈ツール、右に注釈ウィンドウが表示されます。

PDF画面イメージ



よく使う注釈の操作をご紹介します。

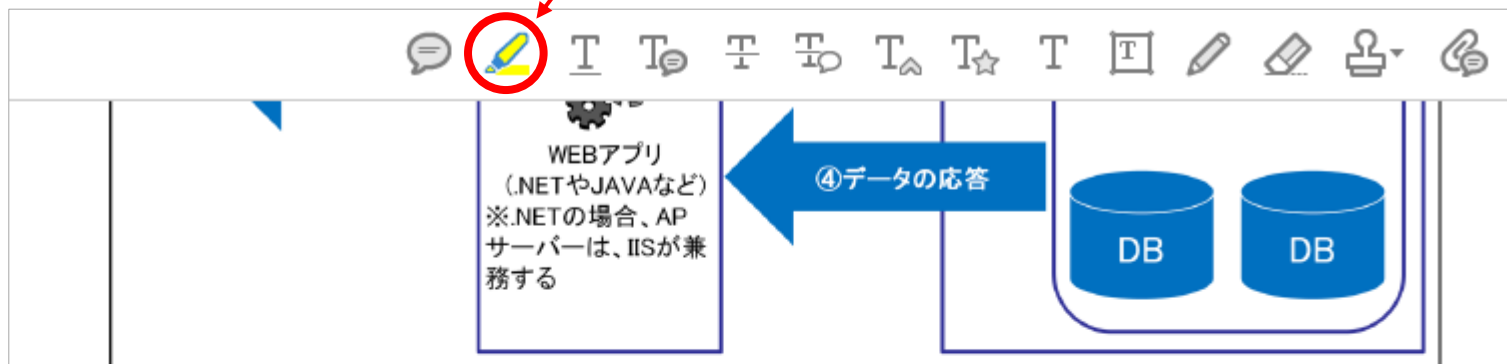
※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例：  テキストをハイライト表示

重要な文章にマーカーで色をつけることができます

PDF画面イメージ

1. 注釈から「テキストをハイライト表示」をクリックします



SQL Server 2014はMicrosoft社が開発したRDBMS(リレーショナルデータベース管理システム)です。SQL Server 2014は小規模データベースから大規模データベース、Microsoft Azureといったクラウド環境上にいるまで、さまざまな環境で利用できます。

2. 文章にカーソルを当ててドラッグするとマーカーが引けます

SQL Serverをはじめとした、RDBMS製品は、「WEBサーバー」「APサーバー(アプリケーションサーバー)」「DBサーバー」で構成する3階層WEBシステムで利用されるパターンが多くなっています。

3階層WEBシステムでは、ブラウザを使いWEBサーバーにアクセスをすると、そこからAPサーバーでロジックを処理し、DBサーバーにデータを保存したり取得したりして、さまざまな処理を行っていきます。3階層WEBシステムは、利用者側の環境にはブラウザだけあればよいため利便性が高く、インターネット上のサービスをはじめ、企業内のシステムでも大小問わず採用されているシステム形態になります。

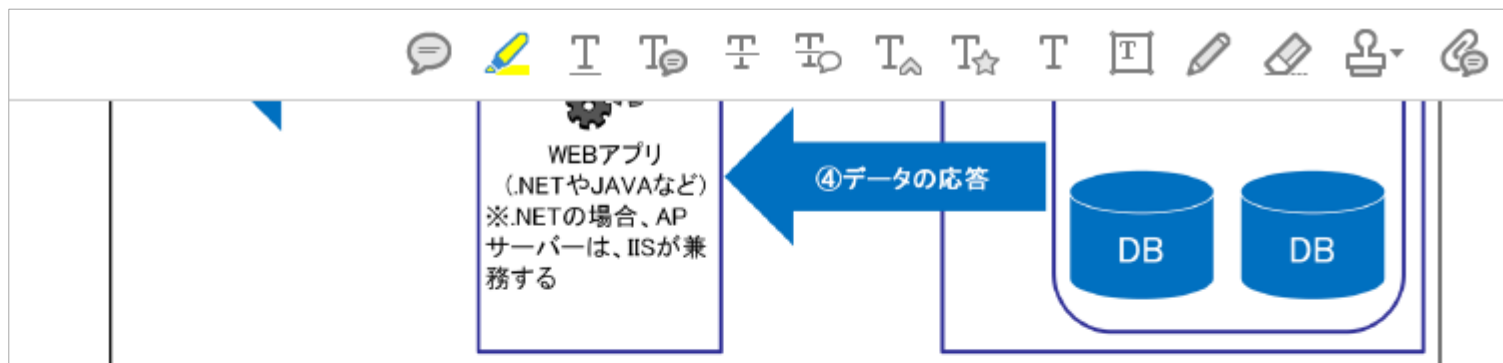
よく使う注釈の操作をご紹介します。

※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例：  テキストをハイライト表示

重要な文章にマーカーで色をつけることができます

PDF画面イメージ



SQL Server 2014はMicrosoft社が開発したRDBMS(リレーショナルデータベース管理システム)です。SQL Server 2014は小規模データベースから大規模データベース、Microsoft Azureといったクラウド環境上にいたるまで、さまざまな環境で利用できます。

2. 文章にカーソルを当ててドラッグするとマーカーが引けます

SQL Serverをはじめとした、RDBMS製品は、「WEBサーバー」「APサーバー(アプリケーションサーバー)」「DBサーバー」で構成する3階層WEBシステムで利用されるパターンが多くなっています。

3階層WEBシステムでは、ブラウザを使いWEBサーバーにアクセスをすると、そこからAPサーバーでロジックを処理し、DBサーバーにデータを保存したり取得したりして、さまざまな処理を行っていきます。3階層WEBシステムは、利用者側の環境にはブラウザだけあればよいため利便性が高く、インターネット上のサービスをはじめ、企業内のシステムでも大小問わず採用されているシステム形態になります。

よく使う注釈の操作をご紹介します。

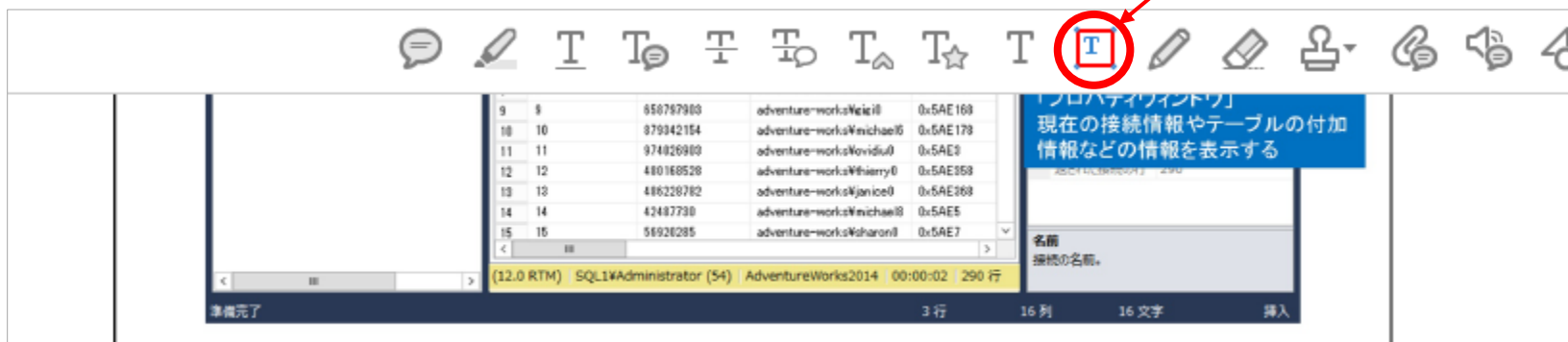
※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試しく下さい

例： テキストボックスを追加

任意の場所にテキストボックスを配置し、テキストを入力することができます

PDF画面イメージ

1. 注釈から「テキストボックスを追加」をクリックします



SQL Server 2014 には、GUIの管理ツールである「Management Studio」が搭載されています。Management Studioは、データベースやテーブルの作成、データの表示と加工といった構築作業から、スケジューラーによるバックアップなどの自動化といった運用作業に至るまで、GUIベースで作業できるツールです。

なお、基本的な操作方法は、旧バージョンと同じManagement Studioからそのまま引き継がれています。そのため、SQL Server 2005やSQL Server 2008、2012を管理したことがある方であれば、容易に利用できます。

主な機能は以下のとおりです。

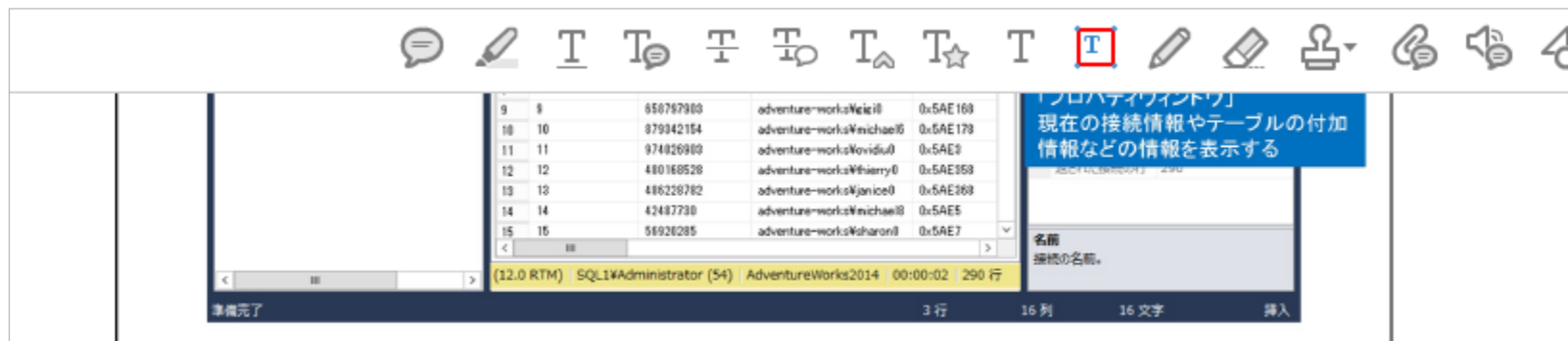
よく使う注釈の操作をご紹介します。

※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試しく下さい

例： テキストボックスを追加

任意の場所にテキストボックスを配置し、テキストを入力することができます

PDF画面イメージ



2. 任意の場所をドラッグするとテキストボックスが挿入され、テキスト入力できます

SQL Server 2014 には、GUIベースの Management Studio が搭載されています。Management Studio は、データベースやテーブルの作成、データの表示と加工といった構築作業から、スケジューラーによるバックアップなどの自動化といった運用作業に至るまで、GUIベースで作業できるツールです。

なお、基本的な操作方法は、旧バージョンと同じ Management Studio から行えます。そのため、SQL Server 2005 や SQL Server 2008、2012 を管理したことがある方でも問題なく操作できます。

主な機能は以下のとおりです。

これはテキスト入力です。 

よく使う注釈の操作をご紹介します。

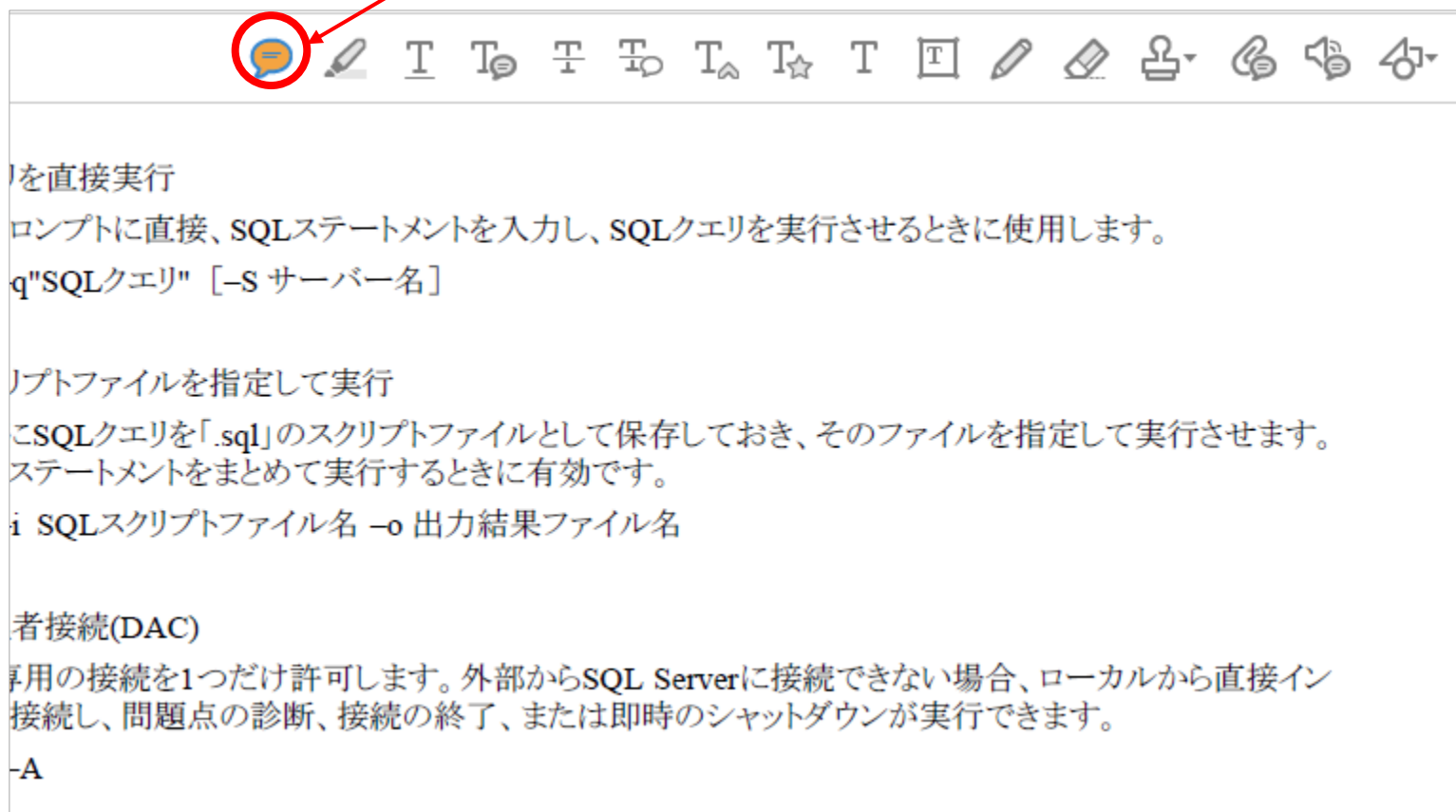
※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例：  ノート注釈を追加

任意の場所に吹き出しを配置し、テキストを入力することができます

PDF画面イメージ

1. 注釈から「ノート注釈を追加」をクリックします



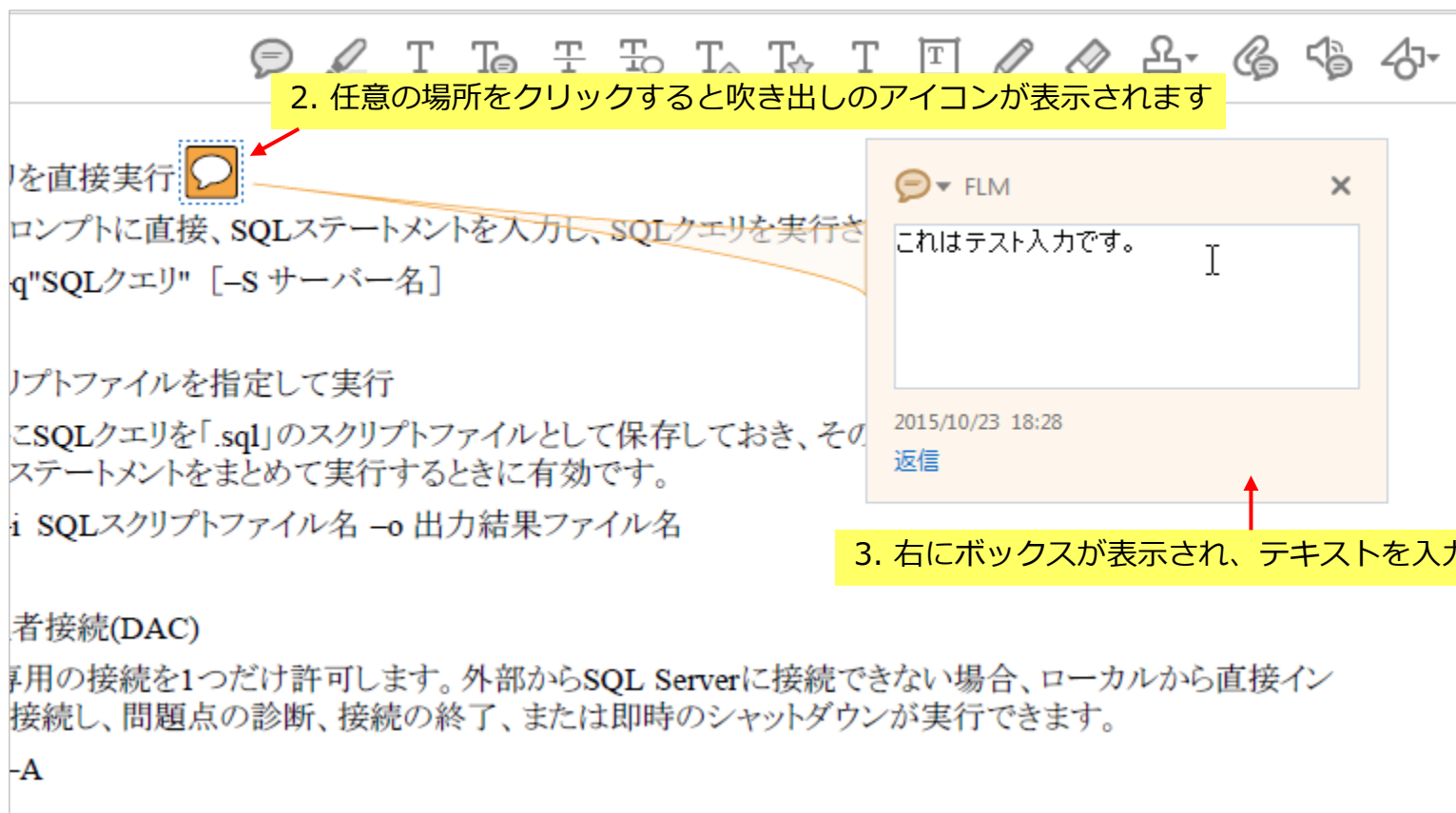
よく使う注釈の操作をご紹介します。

※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例： ノート注釈を追加

任意の場所に吹き出しを配置し、テキストを入力することができます

PDF画面イメージ



よく使う注釈の操作をご紹介します。

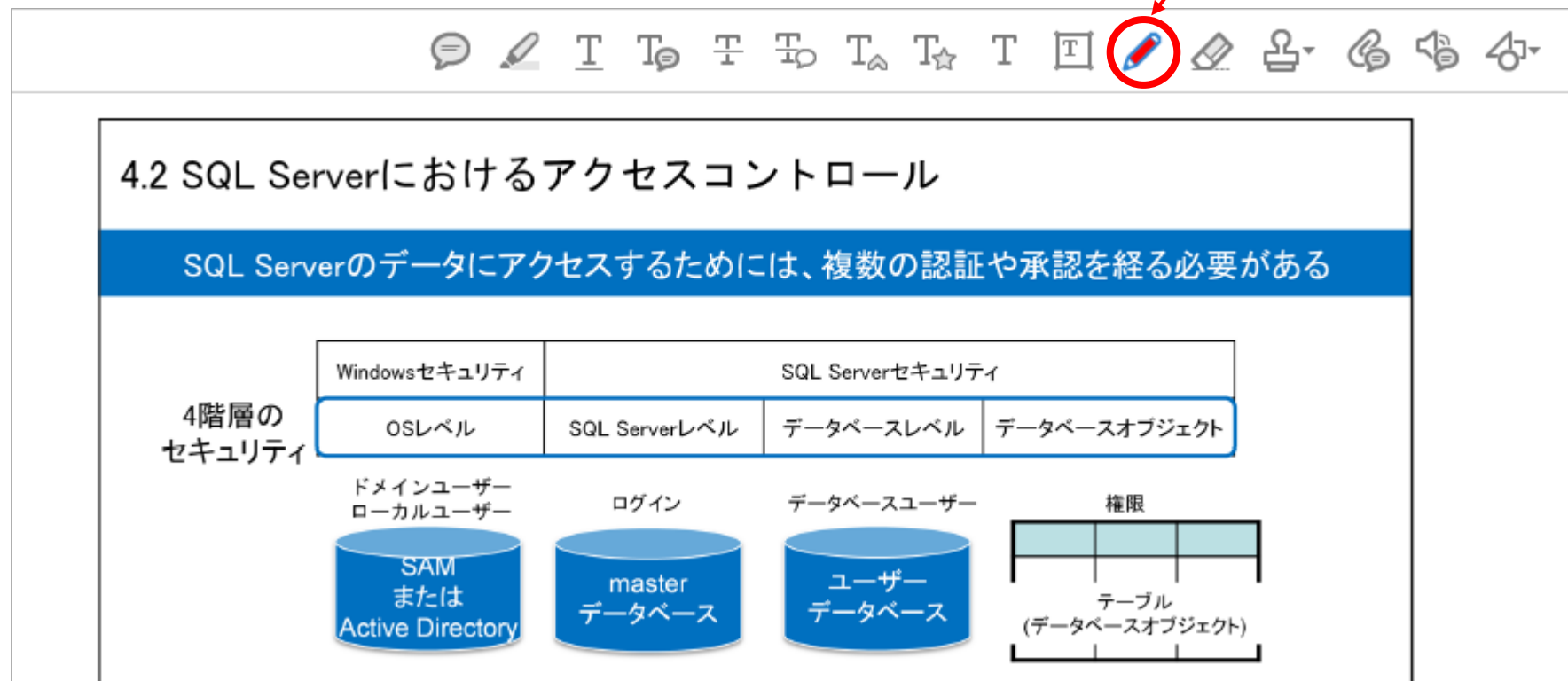
※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例：  フリーハンドの線を描画

任意の場所にフリーハンドで線が描けます

PDF画面イメージ

1. 注釈から「フリーハンドの線を描画」をクリックします



4.2 SQL Serverにおけるアクセスコントロール

SQL Serverのデータにアクセスするためには、複数の認証や承認を経る必要がある

4階層のセキュリティ	Windowsセキュリティ	SQL Serverセキュリティ		
	OSレベル	SQL Serverレベル	データベースレベル	データベースオブジェクト
	ドメインユーザー ローカルユーザー	ログイン	データベースユーザー	権限
	 SAM または Active Directory	 master データベース	 ユーザー データベース	 テーブル (データベースオブジェクト)

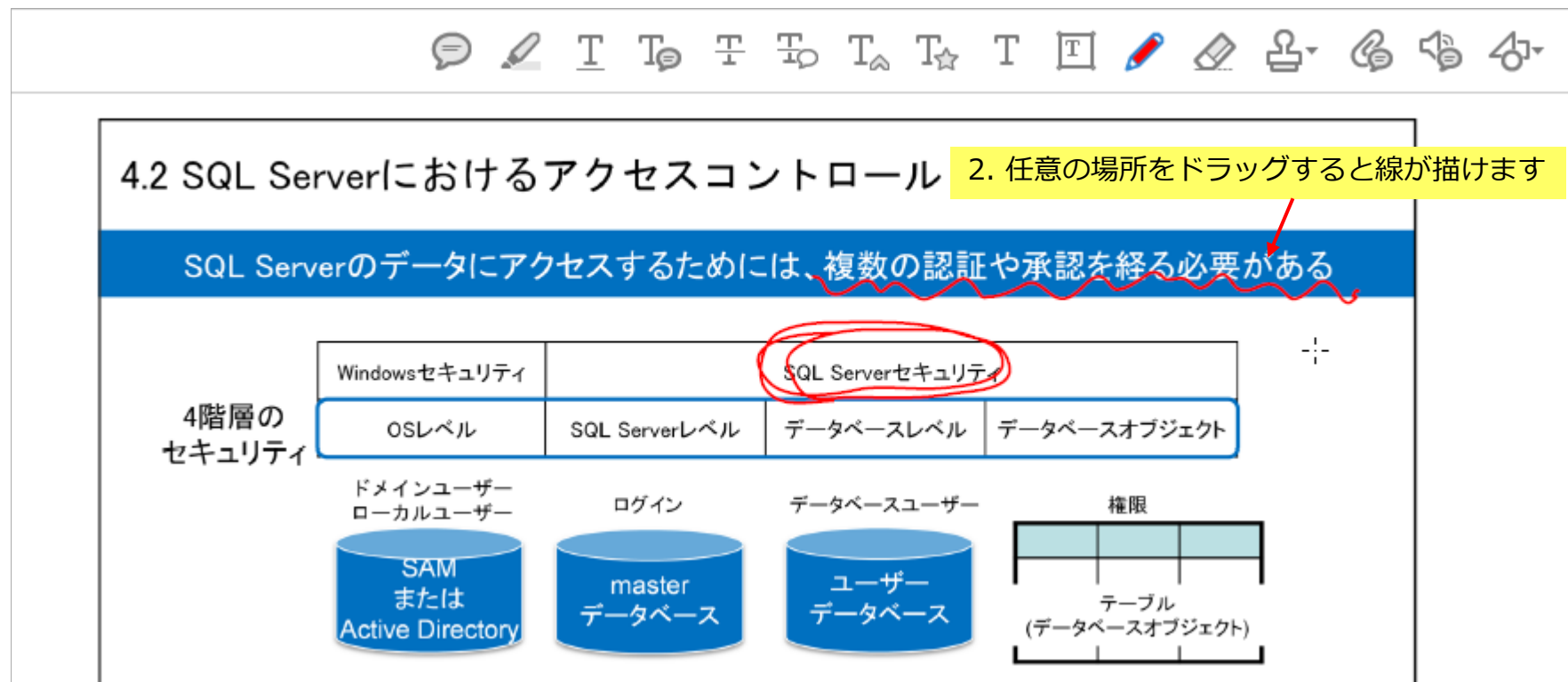
よく使う注釈の操作をご紹介します。

※ 操作に不安のある方は動画を一時停止して、実際に操作をお試ください

例：  フリーハンドの線を描画

任意の場所にフリーハンドで線が描けます

PDF画面イメージ



4.2 SQL Serverにおけるアクセスコントロール

2. 任意の場所をドラッグすると線が描けます

SQL Serverのデータにアクセスするためには、複数の認証や承認を経る必要がある

4階層のセキュリティ

Windowsセキュリティ	SQL Serverセキュリティ		
OSレベル	SQL Serverレベル	データベースレベル	データベースオブジェクト

ドメインユーザー
ローカルユーザー

ログイン

データベースユーザー

権限

SAM
または
Active Directory

master
データベース

ユーザー
データベース

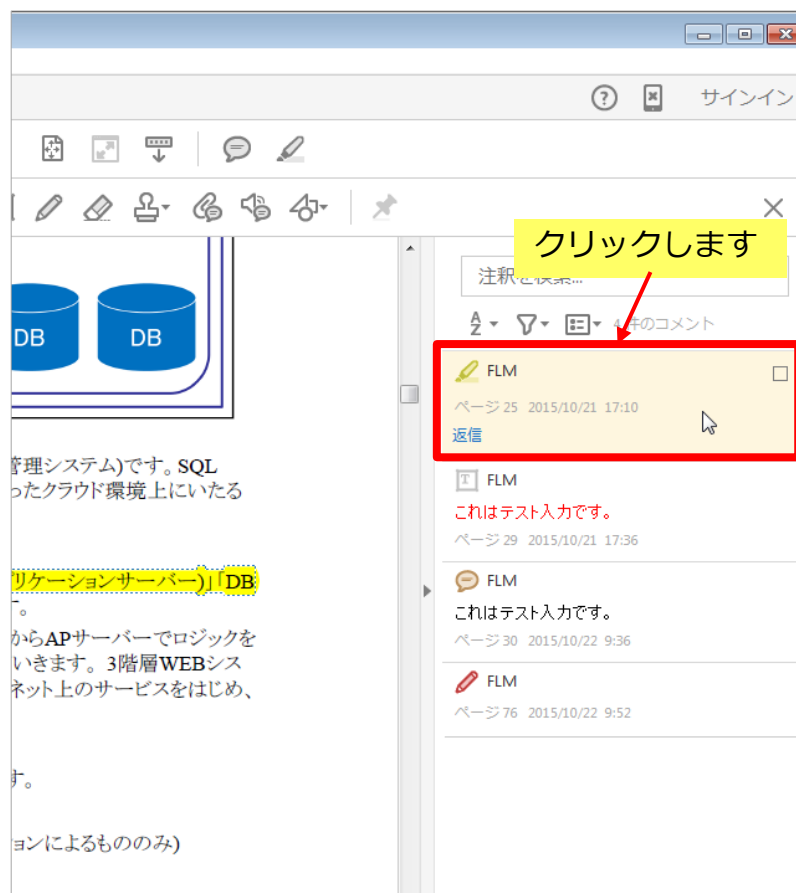
テーブル
(データベースオブジェクト)

注釈ウィンドウの操作をご紹介します。

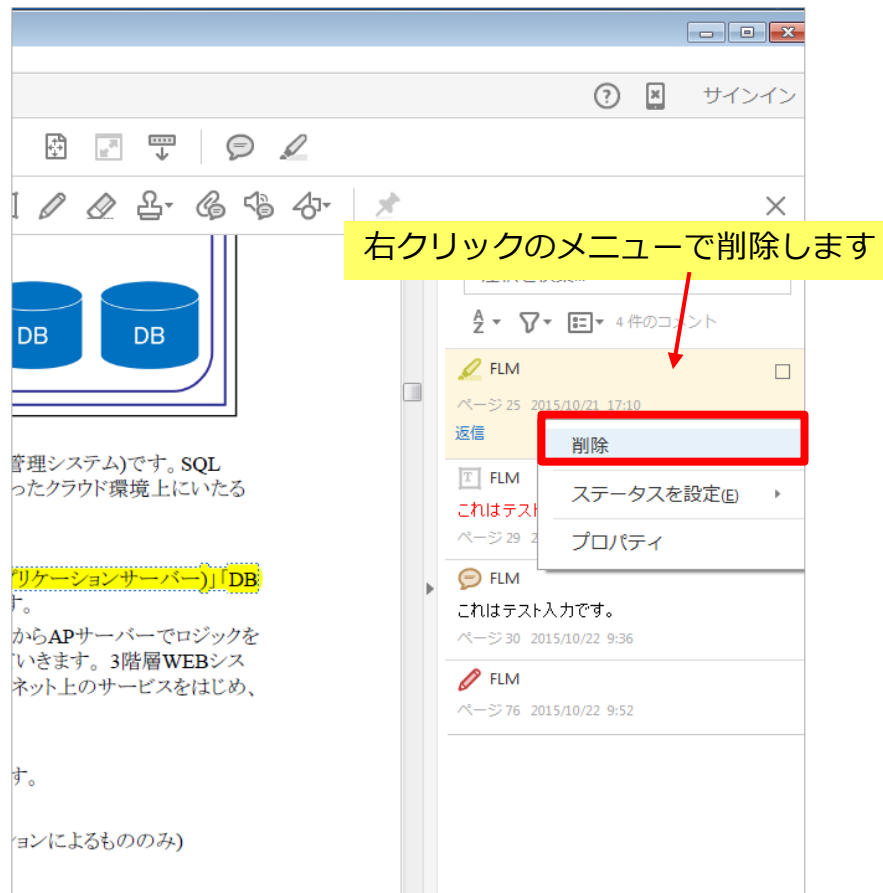
ジャンプ：該当の注釈にジャンプしたい時は、注釈をクリックします

削除：該当の注釈を削除したい時は、右クリックのメニューで削除します

ジャンプ



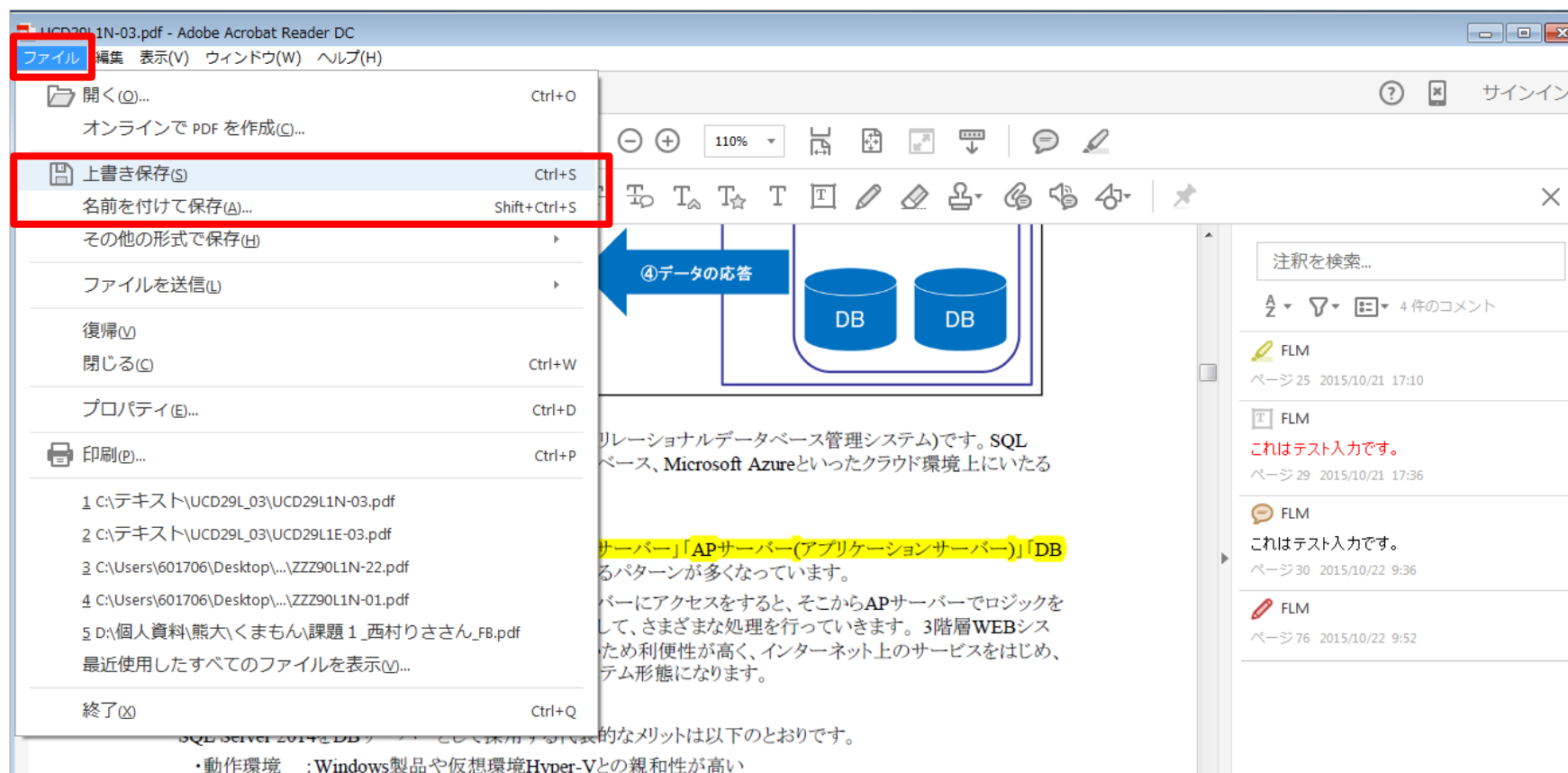
削除



3. PDFを保存する

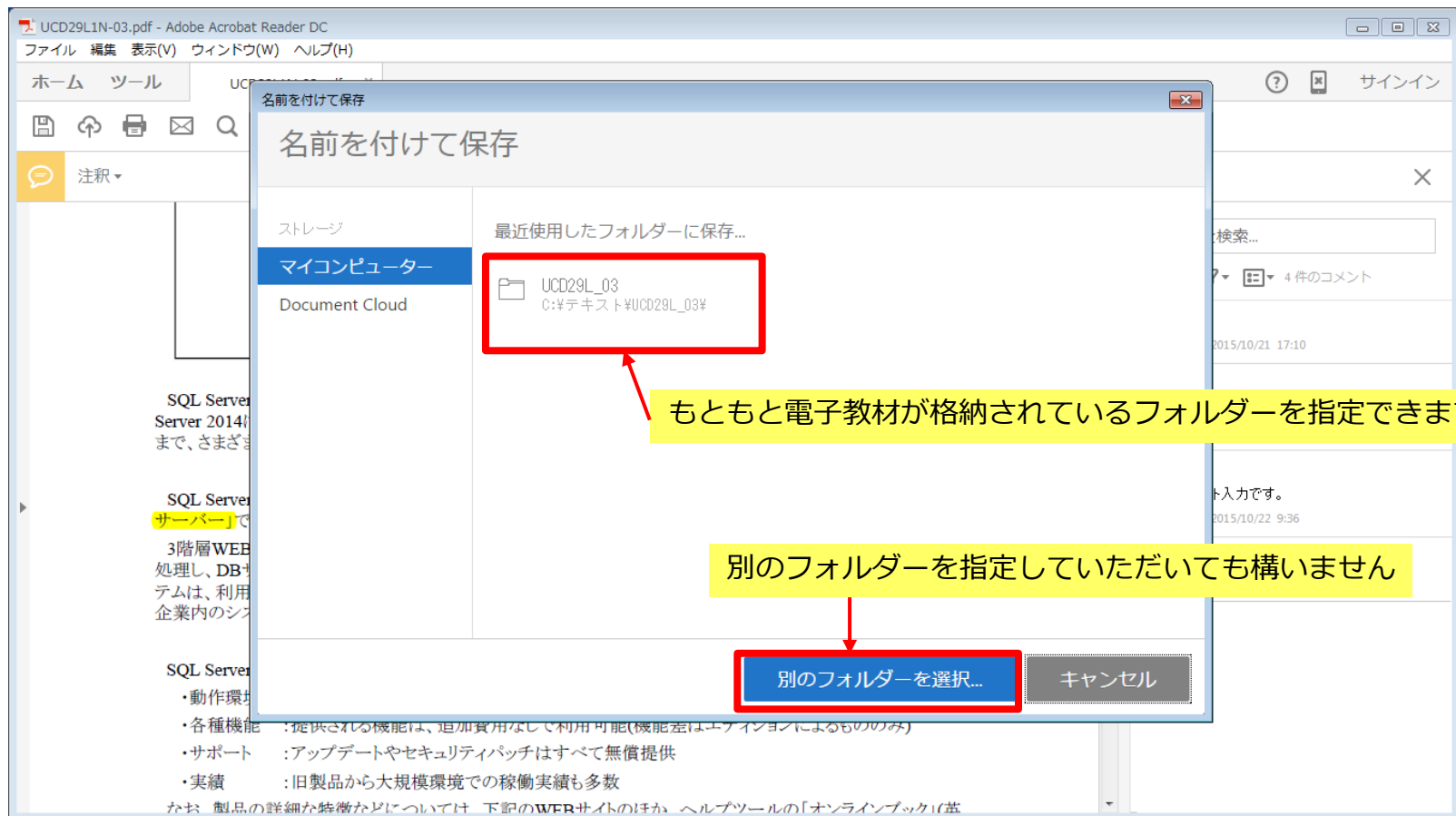
講義中はPDFファイルを**適宜保存**してください。保存は「ファイル」メニューをクリックし、「上書き保存」または「名前を付けて保存」から行います。

PDF画面イメージ

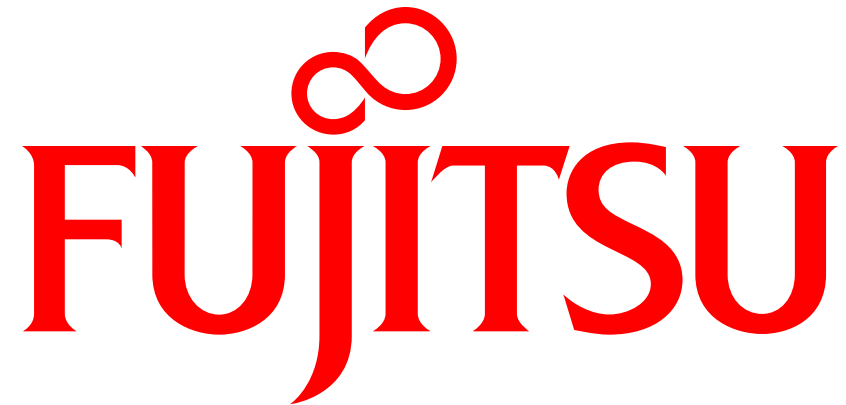


はじめて保存をする時は、保存先のフォルダーを指定するウィンドウが表示されます。保存先はご自身が使いやすい任意の場所で構いません。

PDF画面イメージ



ご不明点がございましたら
講師までお申し出ください



shaping tomorrow with you